

## 第7章

# 市民・事業者に求められる行動

本章では、本計画の重点的な取組ごとに、市民や事業者に求められる行動を具体的に示します。

## 1. 市民・事業者に求められる行動の考え方

私たちは、日常生活におけるエネルギー消費や廃棄物の排出などを通して、直接的・間接的に環境に負荷を与えています。また、事業者は、事業活動における製品の製造やサービスの提供、物資や製品の輸送、廃棄の過程などで環境に負荷を与えています。

本計画に定める目指す環境像を実現していくためには、市民は自らの行動が環境へ及ぼす影響を認識し、環境保全意識を高めていくことが大切であり、事業者は環境に配慮した事業活動の推進を通じて、社会的責任を果たしていくことが必要です。

前章での重点的な取組は、「市民・事業者・行政をはじめ、様々な主体が一体となって、参画し、協働できるもの」をテーマに設定しております。ここでは、重点的な取組に対応して、市民の皆様、事業者の皆様に求められる行動の具体例を示しています。

市民・事業者の皆様においては、重点的な取組を推進し、目指す環境像の実現のために、環境に配慮した生活及び事業活動を実践しましょう。

なお、重点的な取組以外の市民・事業者に求められる行動については、施策体系に沿った形式で資料編に記載しています。

2. 重点的な取組に係る市民・事業者求められる行動

取組1：「みんなで目指す！COOL(クール)な船橋、ストップ温暖化！」プロジェクト

市民に求められる行動	事業者求められる行動
 <p>1-1 エコドライブ、テレビや照明等の家電機器の節電等のエコライフ行動を実践するとともに、家電製品を購入する際には、省エネルギー型や節水型の製品を選びましょう。</p>	 <p>1-1 クールビズ、エコドライブ、事業所内の空調・照明・OA機器等の節電等のエコオフィス行動を実施しましょう。</p> <p>1-2 業務用の設備機材や空調などを導入・更新する際には、省エネルギー型のものを選びましょう。</p>
 <p>1-2 外出時には自家用車の使用を控え、バス・鉄道などの公共交通を利用しましょう。また、近所の場合は徒歩や自転車で出かけましょう。</p>	 <p>1-3 再生品やエコマーク商品など、環境負荷が少ない商品の販売を推進するとともに、製品やサービスの購入では、環境にやさしいエコ製品を優先し、グリーン購入を心がけましょう。</p>
 <p>1-3 住宅への太陽光・太陽熱を利用した設備の設置を検討しましょう。</p> <p>1-4 住宅の壁や屋上などを使って緑化に取り組み、夏季の室温上昇を抑え冷房等の電気使用量を削減しましょう。</p>	 <p>1-4 植栽や緑のカーテンを活用し、夏季の室温上昇を抑え冷房等の電気使用量を削減しましょう。</p> <p>1-5 ごみの分別やリサイクルなどを積極的にを行い、廃棄物の排出抑制に努めましょう。</p>
 <p>1-5 再生品やエコマーク商品など、エコ製品を優先して購入しましょう。</p> <p>1-6 使い捨て製品の購入を控える等ごみを減らし、ごみを出すときはきちんと分別して所定の場所に出しましょう。</p>	 <p>1-6 物資や製品の輸送にあたっては、共同輸送や公共交通機関の利用など、できるだけ効率的な輸配送システムを採用しましょう。</p>
 <p>1-7 ふなばし環境フェアやふなエコ等のイベントに参加し、地球温暖化に関心をもちましょう。</p>	 <p>1-7 ふなばし環境フェアやふなエコ等に参加し、活動を通じて市民・行政と連携を図り、取組成果を発信・共有しましょう。</p>

◆◆◆ 家庭でできる CO<sub>2</sub>削減の取組例と効果 ◆◆◆

本市の家庭部門における温室効果ガス排出量は、市民1人当たり年間約1.56t-CO<sub>2</sub>（2013年度実績値）で、2030年度には、年間約1.16t-CO<sub>2</sub>まで約0.4t-CO<sub>2</sub>（=400kg-CO<sub>2</sub>）削減する必要があります。市民の皆さんがご家庭で実践する日常的な取組で、減らすことができるCO<sub>2</sub>の大まかな目安は下表のとおりですので、目標達成に向けて参考にしてください。

取組例		期待されるCO <sub>2</sub> 削減効果 (kg-CO <sub>2</sub> /年)
エアコン	冷暖房は適正温度で利用する	49.0
	フィルターを定期的に清掃する	18.8
照明	電球を電球型LEDランプに取り替える	52.8
	人がいない部屋の照明は、こまめに消灯する (40W蛍光灯の点灯時間を1日1時間程度短縮)	8.7
ガス給湯器	お風呂は間隔をあけず次々と入る	87.0
	シャワーは出しっぱなしにしない	29.0
テレビ	テレビを賢く利用する (見ていないときは消し、画面の明るさを調節する)	25.8
電気冷蔵庫	物を詰め込みすぎないように整理整頓する	25.7
	庫内の温度設定をこまめに調整する	36.2
電気ポット	長時間使わない時にはコンセントからプラグを抜く	63.1
温水洗浄便座	便座のふたは、使わない時には閉じる	20.5
すべて実践すると…		416.6 (≒0.42t-CO <sub>2</sub> )

◆◆◆ エコドライブの効果 ◆◆◆

エコドライブでもCO<sub>2</sub>を減らすことができます。ガソリンなどの燃料消費量もあわせて減らせるので、経済的にもおトクです。



(出典：「エコドライブ10のすすめ」環境省 Web サイト)

取組2：「みんなで回す！自然の恵みサイクル、食から環境を良くしよう！」プロジェクト

市民に求められる行動	事業者求められる行動
 <p>2-1 ふなばし三番瀬環境学習館等で自然の価値や役割に理解を深め、身近な自然の保全活動や自然の中でのレクリエーションに積極的に参加しましょう。</p>	 <p>2-1 自然の価値や役割について理解を深め、農業体験・漁業体験実施の協力等の生物多様性の保全に向けた活動に積極的に協力しましょう。</p>
 <p>2-2 輸送に係る温室効果ガスが減る等の効果も考え、地産地消、旬産旬消を心がけ、できるだけ地域の旬の食材を選びましょう。</p>	 <p>2-2 卸売・小売業、飲食業においては、輸送に係る温室効果ガスが減る等の効果も考え、地元産の農林水産物の販売や食材としての利用に取り組みましょう。</p>
 <p>2-3 冷蔵庫の食材などは消費期限を定期的に確認し、期限切れで捨てることのないよう期限内の消費を心がけましょう。また、食べ残しをしないようにして、食品ロスを減らしましょう。</p>	 <p>2-3 卸売・小売業、飲食業においては、小盛メニューの提供や持ち帰りの実施など、食品廃棄物の減量化・リサイクルの推進に努めましょう。</p>

◆◆◆ 「フード・マイレージ」について考えてみましょう ◆◆◆

「フード・マイレージ」とは、食料の輸送量に輸送距離をかけ合わせた指標です。なるべく地域内で生産された食料を消費することによって、輸送に係る温室効果ガス削減などを通じて、環境への負荷を低減させていこうというイギリスの市民運動を起源としています。食料自給率が低く島国である我が国では、「フード・マイレージ」が他国に比べて高い傾向にあるため、日頃から地産地消・旬産旬消を心がけることが大切といえます。

**全国産のお鍋**

食材	産地	移動距離
鶏肉	宮崎県	1,146km
ねぎ	埼玉県	106km
豆腐	群馬県	138km
はくさい	茨城県	72km
にんじん	北海道	1,261km
しいたけ	徳島県	669km
総移動距離		<b>3,392km</b>





地元食材を使えば  
移動距離が短縮、  
およそ1/30に！



**千葉県産のお鍋**

食材	産地	移動距離
鶏肉	千葉市	16km
ねぎ	柏市	24km
豆腐	習志野市	5km
はくさい	野田市	41km
にんじん	船橋市	0km
しいたけ	佐倉市	29km
総移動距離		<b>115km</b>

取組 3 : 「みんなでつなぐ! 台地から海への水ネットワーク、育もう豊かな暮らし」プロジェクト

市民に求められる行動	事業者求められる行動
<p>3-1 樹林地や農地の価値を理解し、関連活動やイベントに積極的に参加しましょう。</p> 	<p>3-1 開発行為などの事業活動においては、地域の自然に配慮するとともに、樹林地・農地などの自然環境への負荷を少なくするよう配慮しましょう。また、必要な環境配慮について、地域住民や関係者との合意形成に努めましょう。</p> 
<p>3-2 生物多様性の保全、防災・減災、健康、環境学習に対する効果など、水辺や緑が持つ様々な価値や機能について学びましょう。</p>	<p>3-2 生物多様性の保全、防災・減災、健康、環境学習に対する効果など、水辺や緑が持つ様々な価値や機能を利用した事業活動に努めましょう。</p>
<p>3-3 雨水浸透柵等を設置し、雨水の浸透を促進し、良好な地下水を育みましょう。</p> 	<p>3-3 雨水浸透柵等を設置し、雨水の浸透を促進し、良好な地下水を育みましょう。</p> 
<p>3-4 油は使い切り、食器やなべの汚れは拭いてから洗うなど生活排水に関する工夫をしましょう。</p>	<p>3-4 事業活動に伴う排水は適正に処理し、流域の水環境への負荷低減に努めましょう。</p>
<p>3-5 水辺の清掃活動やふなばし三番瀬クリーンアップなど地域の行事・イベントに積極的に参加しましょう。</p>	<p>3-5 水辺の清掃活動やふなばし三番瀬クリーンアップなど地域の行事・イベントに積極的に参加しましょう。</p> 
<p>3-6 使い捨て製品の購入は控えましょう。</p> 	<p>3-6 製品・商品等の販売には、量り売り・ばら売りなどを取り入れ、使い捨て容器やプラスチック製トレイなどの容器包装類を減らし、プラスチック廃棄物の排出抑制に努めましょう。</p>
<p>3-7 マイバッグ・マイボトル・マイ箸を使いましょう。</p> 	<p>レジ袋 いりません</p> 

取組4：「みんなで作る！環境を守り育てるひとづくり・協働の環<sup>わ</sup>」プロジェクト

市民に求められる行動	事業者求められる行動
<div data-bbox="204 383 472 607"> </div> <p>4-1 (仮称) ふなばしエコカレッジの受講などを通じて、環境保全に取り組む仲間を増やしましょう。</p> <p>4-2 環境問題に関心を持ち、自ら情報を収集し、正しい知識を深めましょう。</p> <div data-bbox="204 792 485 947"> </div> <p>4-3 ふなばし環境フェアや地域の環境に関するイベントに参加して、環境に関わる様々な人たちとの交流を深めましょう。</p> <div data-bbox="204 1151 472 1464"> </div> <p>4-4 公園の清掃ボランティアや地域の緑化活動などには進んで参加しましょう。また、多くの市民がボランティア活動などに参加するよう、市民どうしの呼びかけを行いましょう。</p>	<div data-bbox="810 394 1070 667"> </div> <p>4-1 社員に対する環境研修・環境教育を実施し、環境への意識を高めましょう。</p> <p>4-2 事業所の環境保全に向けた取組や事業活動を通じて蓄積した知識・ノウハウを報告制度などを活用して、積極的に情報を発信しましょう。</p> <div data-bbox="802 869 1098 1066"> </div> <p>4-3 市や各種団体が行う学習会、講演会、セミナーなどには積極的に参加するとともに、参加者同士で情報交換をする等、交流を深めましょう。</p> <div data-bbox="826 1182 1038 1435"> </div> <p>4-4 地域における美化活動など、地域コミュニティや市民団体等の環境保全活動に協力しましょう。</p>

